

チャレンジ支援委員会 第2回「おせっかい侍の発表応募支援 STEP1」 報告書

チャレンジ支援委員：天野、黒田、鈴木、濱田、家根橋、吉川

2022年2月27日 10:00-12:00 オンライン開催

「発表のネタ探しー現場の課題や実践を大会・支部集会発表につなげようー」

2021年度第2回「おせっかい侍の発表応募支援 STEP1：発表のネタ探し」（オンライン）には、16名の方にご参加いただきました。日本語教育歴ゼロから25年までと幅広く、院生の方から教育機関の教員まで多様な背景の方々の参加がありました。

まず、「第1部：『はじめての発表』の体験談を聞こう」では、萩原秀樹氏（インターカルト日本語学校）、米本和弘氏（東京医科歯科大学）にご登壇いただき、発表へのきっかけ、発表までのプロセス、発表することの意義について具体的な発表経験をもとにお話しいただきました。その後の質疑応答では、参加者からチャットを通じて、実践を研究にしようとする時の問題などについて質問があり、登壇者のお二人から親身なご回答をいただきました。

続く「第2部：グループワーク『発表につなげるタネを一緒に探そう』」では、ブレイクアウトルームを利用して参加者2~3名の5グループに分かれ、グループディスカッションを行いました。各グループ担当の登壇者のお二人・委員のファシリテートのもと、いずれのグループもなごやかにかつ有意義な対話が進められました。グループワークの後は全体に戻り、ファシリテーターの登壇者・委員から各グループの様子を共有いただいた後、無事閉会しました。

参加者による事後アンケートでは、概ね「満足できた」「役にたった」という回答をいただきました。「皆様のお話が聞けて良かった」「頑張ろう!という意欲が生まれました」といったコメントもあり、参加者同士が力をもらえる場ともなっていたようです。また、本企画では、企画終了後に参加者同士で自由に意見交換ができる場も用意しております。是非積極的に活用していただき、参加者同士での交流をさらに深めながら、実践を発表へと繋げていただけたらと思っています。

回を追うごとに、本企画にさまざまな背景の方々が関心を持ち、参加して下さるようになりました。参加を考慮して下さる方が安心して参加し、そしてそれぞれの「発表のタネ」を育てていけるきっかけとなる場づくりをこれからも心がけていきたいと思っております。登壇者の先生方、参加者の皆様、ありがとうございました。

